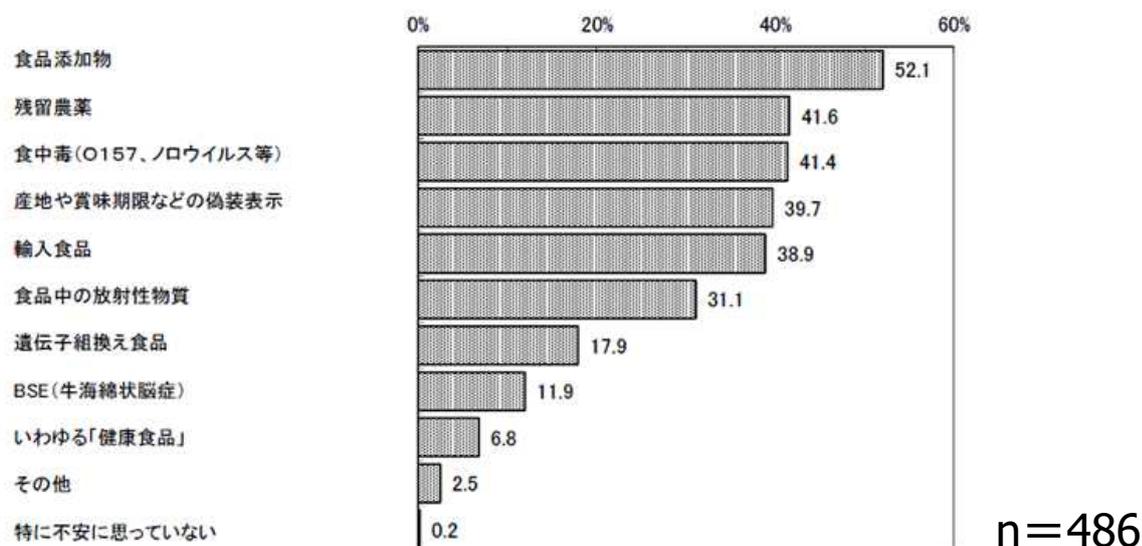


輸入食品を食べてもいいの？ 消費者の不安にこたえるために

2019年2月
一社) Food Communication Compass 代表
森田 満樹

(東京都調査) 食品の安全性について、あなたが特に不安に
思っていることは何ですか？ (3つまで選択)

東京都2013年インターネット都政モニターアンケート結果より



他の自治体の調査、民間調査等でも、食品添加物、残留農薬とともに、輸入食品が上位を占める傾向にある

なぜ、輸入食品に不安を感じるのか？

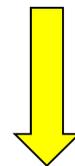
1. 海外で、ずさんな取り扱いをされた不衛生な食品が、日本にきているのではないかな？
2. 残留農薬や添加物等の輸入食品の違反事例が報告されている。日本に流通している輸入食品は危ないのではないかな？
3. 海外で使われる特定の動物用医薬品、農薬、食品添加物等が、からだに悪いのではないかな？
4. 国際化が進む中で、米国の圧力などで日本の食品安全基準が脅かされたり、ルールが緩和されたりするのではないかな？



3

輸入食品が消費者の手もとに届くまで

1. 輸出する国での取り組み
農場、工場の対策は？
検査は行われているの？
2. 輸入時（港）での取り組み
どんな検査が行われている？
違反になったらどうするの？
3. 国内での取り組み
流通している輸入食品は安全？



輸出国対策（外国）、輸入時対策（港）、国内対策の3段階

【輸出国対策】パラグアイ産ゴマの輸出国対策の事例

◆2018年12月3日、「パラグアイのゴマ残留農薬対策の取り組みについて」紹介するセミナーが開催（写真右上）。

◆パラグアイ産のゴマは2009年より残留農薬の違反が相次ぎ命令検査となり、パラグアイ政府の要請を受けて2015年より日本から食品安全の専門家が派遣された。

◆パラグアイの関係者と問題解決のために、生産者等に対する教育・指導。使用禁止農薬の代替農薬の検討、サンプリング方法の改正、検査の信頼性確保等に着手

◆パラグアイ政府による輸出前検査を集中的に行っている

◆2017年より一部の輸出事業者から命令検査が解除され、モニタリング検査へ



写真中・下：JAICAウェブサイトより

【輸入時対策】輸入食品の安全確保対策は、「輸入時の水際対策」を行う検疫所がカギとなる



*各地の検疫所では、消費者向けに見学会や学習会を開催している

*港で野積みになっている輸入食品のイメージがあるが…

東京検疫所資料より



【国内対策】 地方自治体は食品衛生監視指導計画のもと、実際に流通している輸入食品対策を行う

たとえば東京都では毎年度、東京都食品衛生監視指導計画を策定し、食中毒対策、輸入食品対策といった重点的に監視指導を行う項目などの実施内容や実施結果を公表している。



【国内対策の事例】 東京都の事例

- 都道府県は、流通している食品について収去検査(抜き打ちで食品を選び、様々な項目で違反品があるかどうか検査を行う)が行い、違反があるか調査。
- たとえば東京都の平成28年度違反調査結果では、国産の違反が0.07%、輸入食品が0.04%で、違反率は同程度であった

	国産品			輸入品		
	検査品目数	違反数	違反率	検査品目数	違反数	違反率
魚介類及びその加工品	4,768	2	0.04	704	1	0.14
冷凍食品	776	-	-	1,740	-	-
肉・卵類及びその加工品	8,557	4	0.05	4,787	1	0.02
乳・乳製品等	2,515	7	0.24	451	-	-
農産物及びその加工品	6,498	4	0.06	7,719	2	0.05
菓子類	5,515	2	0.04	339	1	0.29
飲料・氷雪・水	1,818	-	-	355	1	0.28
その他の食品	12,063	3	0.02	1,761	1	0.06
添加物	21	-	-	-	-	-
器具及び容器包装、おもちゃ	273	-	-	72	-	-
合計	42,797	22	0.07	17,928	7	0.04

消費者として知っておきたいこと

食品の安全性は、食品衛生法によって輸入食品でも国産品でも同じ基準（残留農薬、食品添加物、微生物など）が適用される。

→国内で流通している食品は、輸入食品も国産品でも安全性は同じ。

*たとえば、中国で日本へ輸出される食品は、土づくり、ほ場、運搬、製造、出荷まで工程ごとに厳しく管理されている。中国国内で流通する食品（中国の基準に従うもの）とは、別のもの

9

食品安全の基準はどう決められるのか？

消費者の不安

（農薬や添加物の基準について）

1. 農薬や添加物などの基準は、きちんと決められているのか？超えたら危ないか？
2. 日本の食品の基準は厳しく、米国からの圧力で、残留農薬の基準などが緩和されるのではないか？
3. 輸入レモンなどの収穫後（ポストハーベスト）農薬使用について、安全性は守られているか？

10

農薬と食品添加物の安全性は

- 農薬や食品添加物でがんになることはないようにリスク評価、リスク管理が行なわれている
- 基準値は安全か危険かの境目ではなく、管理をするための値であり、基準値を2倍、3倍超過しても、健康影響は無い
- 一般に流通している食品は、保健所等で収去されて、農薬や食品添加物が基準値を超えることがないか、検査されている
- 輸入食品は輸出国対策、輸入時対策も行われている

11

Q 日本の残留農薬基準は各国に比べて厳しい？

	日本	国際基準	米国
①日本の基準値が 厳しい 場合【アジンホスメチル(殺虫剤)】			
アーモンド	0.01ppm	0.05ppm	0.2ppm
②日本の基準値と国際基準値が 同じ 場合【クロルピリホスメチル(殺虫剤)】			
小麦	10ppm	10ppm	6.0ppm
③日本の基準値が 緩い 場合【イミダクロプリド(殺虫剤)】			
ぶどう	3ppm	1ppm	1.0ppm

各国の基準は気候などによる農薬量の違いや、摂取量の違いがあり、どちらが厳しいということはない。外国の圧力で日本の基準が緩くなるのではとの懸念があるが、国際基準の調和が求められることが原則で、どちらかの国の基準に合わせるということではない。

Q 輸入食品について、日本では全体の約1割しか検査が実施されていないと聞きますが、食の安全は十分に確保されているのでしょうか。

A 我が国では、平成26年度の実績で年間約222万件・約3,241万トンもの食品を輸入しており、食品ごとのリスクに応じて計画的に検査を行うことにより、効率的、効果的に輸入食品の安全性確保を図っています。

検疫所においては、多種多様な輸入食品を幅広く監視して食品ごとのリスクの状況を把握するため、モニタリング検査を実施しています。この検査は、食品衛生法違反を一定の確率で把握できるよう、食品群（171分類）や検査項目（動物用医薬品、残留農薬、添加物等）ごとに統計学的な考え方に基づいて年間計画を定めて実施しています。平成26年度のモニタリング検査においては94,043件の計画に対し、延べ96,580件を実施し、140件を法違反として、回収等の措置を講じました。

東京都ウェブサイト「東京都食品安全FAQ」より

Q 輸入のレモンやグレープフルーツには、なぜ防かび剤が使われるのですか？

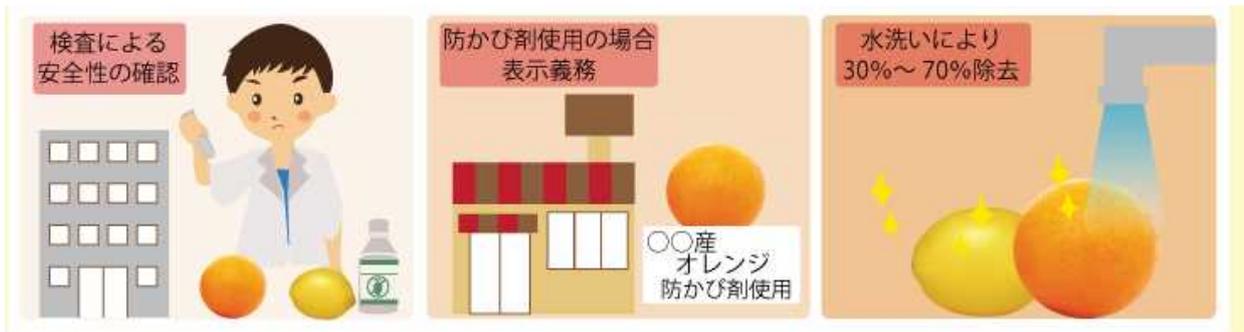
A 外国産のかんきつ類やバナナは船便で輸入されるため、日本に到着するまでに時間がかかります。長期間の運搬・貯蔵中にはかびが発生しますので、それを防止する目的で防かび剤が使用されています。



Q 輸入のレモンやグレープフルーツに防かび剤が大量に使われていると聞きましたが、体に悪い影響はないのでしょうか？

A 輸入されるかんきつ類には防かび剤が用いられることがあります。ただし、健康に影響を及ぼさないよう、使用基準が定められています。

東京都でも輸入かんきつ類やバナナに残留する防かび剤の検査を実施し、安全性を確認しています



輸入食品について考えたいこと

- 今後の輸入食品の増加に対応して、リスクに応じた効率的な対応が望まれる。
- 現地における食品事業者の対策の向上も望まれる。
- 日本は食品の輸入大国で、消費者は安いものを手に入れられるというメリットがある一方、開発途上国では、労働環境に関する問題がしばしば指摘され、問題が起こることがある。
- 日本の消費者の要求が、食品ロスや開発途上国の生産者や労働者に与える影響について思いを馳せることも大切。



消費者の役割は？

【食品安全基本法における消費者の役割】

- 第九条 消費者は、食品の安全性の確保に関する知識と理解を深めるとともに、食品の安全性の確保に関する施策について意見を表明するように努めることによって、食品の安全性の確保に積極的な役割を果たすものとする。

【消費者基本法における消費者の役割】

- 第七条 消費者は、自ら進んで、その消費生活に関して、必要な知識を修得し、及び必要な情報を収集する等自主的かつ合理的に行動するよう努めなければならない。

17

輸入食品の安全性について参考情報

【厚生労働省・輸入食品監視業務】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/yunyu_kanshi/index.html

- パンフレット、動画、FAQなど様々な資料やお知らせ、トピックスなど

【東京都・食品衛生の窓】

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/index.html>

- 統計資料、食品安全FAQ「輸入食品に関すること」など



18